

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成30年度事業 点検・評価調書

5-II-9

5-II-9

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	世界遺産グッズの開発支援
	節	II 伝統文化・地場産業の振興		
事業(施策)名	9 佐渡金銀山関連グッズの開発支援	事業主体		佐渡市地域振興課
		関連団体		佐渡市世界遺産推進課、県中小企業団体中央会、佐渡観光交流機構、(株)ゴールデン佐渡、佐渡汽船(株)
事業実施期間	H28～R4			
事業概要	【事業目的】 ○新たな商品・サービスの開発により、島内経済の活性化と全県への波及を図る。			
	【事業内容】 ○佐渡金銀山グッズ等、新たな商品・サービスの開発に向けて、大手メーカーとの協力や商品開発、マーケティングに係る有識者によるアドバイス等の支援を行う。			
30事業計画と実績	【30年度計画】 ●地域資源の活用やブランド力の向上、課題解決を目指したセミナーやワークショップ開催により、商品開発のための気運を醸成する。			
	【30年度実績】 ●市内での異業種交流を図り、新たな企業間連携を促すため、全6回のワークショップにより試作を含めた検討及び商品アイテムのイメージ作成まで取り組んだ。			
課題・今後の取組	【課題】 ■絞り込んだアイテムの商品化に向けた調整。			
	【今後の取組】 ■個別事業所ミーティング等を行い、商品化、ブランディング、プロモーションを実証する。			
事業評価	【事業の達成度】 〔a・b・c〕		◇商品アイテムのイメージ作成まで取り組めたことからA評価とした。	
	【事業実施の効果】 〔a・b・c〕			
	【総合評価】 〔A・B・C〕			

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。